

# 障害福祉研究部

Department of Social Rehabilitation

障害福祉研究部は、障害者の社会適応に関する社会的及び心理学的調査研究を実施することを目的に設置されました。

## 社会適応システム開発研究室

障害者を取りまく環境としての社会、文化、制度及び技術のあり方を研究対象としています。“インクルージョン”の実現、“アクセシビリティ”の確保、“合理的配慮”の徹底といった「障害者の権利に関する条約」でうたわれている理念の実現に向けた課題解決に貢献するため、フィールドベースでの研究を通じて障害者の日常的な課題を把握するとともに、“コミュニケーション”を高め、自然な形で障害者の自立や社会参加を促そうとする独自の方法論の確立を目指します。

展示にない研究テーマには、家族支援、障害統計、障害認定があります。障害統計については、障害者の人数を国際的に同じ基準で計るための設問作りを行っている国連障害統計のワシントン・グループ会議への参加のほか、「生活のしづらさなどに関する調査」の詳細統計を作成しています。また、身体障害者の認定基準のうち、医学の進歩により現状にあわなくなった内容の更新について検討しています。

## 心理実験研究室

地域におけるサービス提供基盤の整備を進めるため、障害者の日常生活等を踏まえたサービス圏域の設定と必要な資源、コーディネイト機能を含む体制構築に資する調査研究を実施しています。

障害福祉サービス事業所の配置の現状や課題を把握するとともに、日常生活圏域における整備の在り方とともに専門職に必要とされる知識や技術、それを踏まえた資格制度の在り方、ケアサービスの評価手法を明らかにするとともに、在宅生活を支える24時間ケア提供システムについて研究を行い、地域包括ケアシステムの方向性を提示するとともに、障害福祉計画を立案する際の基礎資料データベースの作成を行っています。

## **「障害者のための教材作成と研修開発」…G 会場**

障害者用の防災マニュアルを作成し、研修を開発しています。



左：発達障害の人のための防災実践 BOOK

右：自閉症の人のための防災・支援ハンドブック（日本自閉症協会）のマルチメディアデジ版

研究代表者： 障害福祉研究部 北村弥生

<http://www.rehab.go.jp/ri/fukushi/ykitamura/kitamurayayoi.htm>

## **「災害時要援護者支援のあり方に関する研究」…G 会場**

所沢市の色々な組織と連携して障害者が防災訓練に参加する方法を調べたり、障害者の防災対策に関する進んだ例を全国から収集しています。



所沢市地域防災訓練での障害当事者の参加方法を検討

研究代表者： 障害福祉研究部 北村弥生

<http://www.rehab.go.jp/ri/fukushi/ykitamura/kitamurayayoi.html>

## 「障害者支援を充実させるための施策構築に関する研究」…G 会場

今回は、全国の障害者サービスの整備状況の可視化と住民のサービス事業所へのアクセス距離の算出結果を展示しています。

分析の結果として4点が明らかとなりました。

- ①種障害福祉サービス事業所までの平均アクセス距離には地域間格差がある。
- ②平均アクセス距離とサービス利用には相関がある。
- ③介護給付サービスの平均アクセス距離は近い傾向にあるが、通所系サービスでは遠い傾向にある。
- ④アクセス距離とアクセス可能な人口割合の分布においても地域格差がある。



サービス拠点の地域配置状況や各障害福祉サービス事業所等への距離などの基本情報を整理し、障害者地域ケアモデルの開発を目指しています。

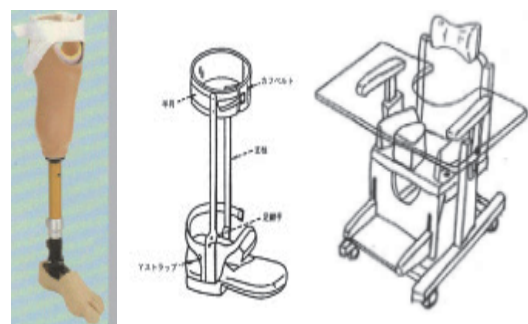
研究代表者：障害福祉研究部 筒井澄栄

## 「義肢・装具・座位保持装置製作をめぐる価格と

## 製作費用のはなし」…G 会場

障害福祉制度による補装具の価格は、「補装具費支給基準」として厚生労働省により定められています。これらの価格が高すぎず、それでいて製作・修理の採算が取れるよう考えることは、今後も安定して補装具が供給されていくようにするうえで重要です。この研究では、補装具のうちの義肢・装具・座位保持装置について、製作事業所を対象として製作費用の実態調査をおこない、価格設定に関する根拠データをまとめています。また、今後の補装具費支給制度について、適切なものが必要とする人に適切な価格で提供されるための制度のあり方について検討をおこなっています。

今回は、一昨年度から昨年度にかけて実施してきた製作費用実態調査の結果について展示します。



研究代表者：障害福祉研究部 我澤賢之